

事務事業名		地域密着型サービス施設整備費補助金事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 01 03 71		
	施策名	13 高齢者福祉の推進							
	基本事業名	02 高齢者福祉サービスの充実							
根拠法令					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 24 年度～ 26 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入				
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター							
	係名	高齢者福祉係	電話	26-2943					
			内線	439					

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
国からの地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を受け、地域密着型サービス事業所を整備する。 【業務の内容】①面的整備計画を作成し国への協議、②国の交付金内示を受け施設を整備する社会福祉法人等に補助金事業内示、③施設を整備する社会福祉法人等から市への補助金交付申請書受付、④審査、⑤市から補助金交付決定、⑥国に交付金交付申請、⑦国の交付決定を受け補助金の支払、⑧国に実績報告 なお、介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス事業所の整備にあたり地域密着型サービス運営協議会の意見と踏まえ、施設整備に係る候補者を選考している。 【第5期介護保険事業計画による施設整備予定】 ○平成24年度:小規模多機能型居宅介護 1カ所 ○平成25年度:小規模多機能型居宅介護 2カ所 ○平成26年度:(該当なし)		総投入量 (千円) 事業費 人件費	国庫支出金	
			都道府県支出金	410,200
			地方債	
			その他	
			一般財源	
			事業費計(A)	410,200
		正規職員従事人数	1	
		延べ業務時間	300	
		人件費計(B)	1,200	
		トータルコスト(A)+(B)	411,400	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 地域密着型サービス施設を整備する社会福祉法人等に補助金の交付決定を行った。(事業は翌年度に繰越しとなった) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 地域密着型サービス施設を整備する社会福祉法人等に補助金を交付する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
	ア 補助金申請件数	件
	イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 施設整備費補助を希望する社会福祉法人等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	名称	単位
	カ 施設整備費補助を希望する社会福祉法人等	法人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 社会福祉法人等のサービス施設整備等に係る経費を軽減する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 適切な施設整備が促進され、要介護者が住み慣れた地域で、その状態に応じた自立した生活をおくることできる。	サ 施設整備により増える定員(登録)数	人
	シ	
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度						
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	13,002	0	360,200	50,000			
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	13,002	0	360,200	50,000	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1			
	延べ業務時間	時間	30	100	100	100			
	人件費計(B)	千円	120	400	400	400	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,122	400	360,600	50,400	0	0	
⑤活動指標	ア	件	2	6	6	1			
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	法人	2	2	4	1			
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	0	10	104	20			
	シ								
	ス								

事務事業ID	1315	事務事業名	地域密着型サービス施設整備費補助金事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成18年の介護保険制度改正に伴い、高齢者が住みなれた地域での生活を継続するために、身近な地域ごとに施設をつくり、地域の実情に合わせて市町村がサービスの拠点整備する「地域密着型サービス」が導入され、市が作成する公的介護施設等の面的整備計画により、国が事業採択し交付する「地域介護・福祉空間整備交付金」が創設されたことによる。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ これまでの国が採択する「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」の一部が、平成21年度から23年度までの間、国の経済危機対策により岩手県基金を造成し、「介護サービス施設等整備臨時特例事業費補助金」として、①介護基盤整備に対する補助と②既存施設のスプリンクラー整備に対して補助を行うこととされた。 なお、「地域包括ケアシステム」構築の推進に当たり、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場(日常生活圏域)で適切に提供できるような地域での体制づくりが課題の一つとなっている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 以前は、特別養護老人ホーム等の整備に際し、事業費に対して一定割合で国庫・県・市で補助金を交付していたが、平成18年度の介護保険制度改正に伴い創設された本交付金は、事業費に関係なく施設種別毎の定額交付となったため、事業主体の社会福祉法人等から市の上乗せ補助を要望されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	地域密着型サービス施設の定員(登録者数)が増加することにより、介護を必要とする高齢者が住みなれた地域で自立した生活を継続することができるようになる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	市が策定する介護保険事業計画に基づいた施設整備であり、市が作成する面的整備計画により国から市に交付される交付金であるため、市が関与する以外に方法はない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	国が定めた地域介護・福祉空間整備等交付金実施要綱に基づく施設等を対象としており、適切と思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させるには、施設入所待機者の解消を図ることが必要になるが、急激な施設整備は市の財政圧迫または介護保険料の増額を招くことになるため、介護保険事業計画に基づいた計画的な施設整備を行っている現状が最良と思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	廃止又は休止した場合、施設整備が停滞する可能性があり、介護を必要としている高齢者への影響が大きいと思われる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒	施設整備のための国からの交付金は、市で計画した整備計画により市に交付し、事業主体である社会福祉法人等には直接交付できないため、市からの補助金交付以外に方法はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	国から交付される交付金と同額を市補助金として事業主体である社会福祉法人等に交付しているため、事業費の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	市が策定する介護保険事業計画に基づいた施設整備であり、市が作成しなければならない面的整備計画及び交付金申請、補助金交付関係事務であり、必要最小限の業務時間であり、人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	市が策定する介護保険事業計画に基づいた施設整備であり、3年毎に見直す介護保険事業計画策定時には住民の意見を広く聴取しており、事業所候補の選考にあたっては、施設整備する前年に公募をし、地域密着型サービス運営協議会において公平な選考に意を配している。また、国が定めた地域介護・福祉空間整備等交付金実施要綱に基づく施設の種類毎の定額交付となっており、公平・公正となっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>適切に事業執行されている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>入所待機者の解消を図るため、平成24～26年度を計画期間とする第5期介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス施設を整備する。</p> <p>【第5期介護保険事業計画による施設整備予定】</p> <p>○平成24年度:小規模多機能型居宅介護 1カ所</p> <p>○平成25年度:小規模多機能型居宅介護 2カ所</p> <p>○平成26年度:(該当なし)</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>平成24年度から26年度までを計画期間とする第5期介護保険事業計画に地域密着型サービス施設整備計画を策定するにあたり、入所系施設の待機者の状況、介護給付費の増加、第1号被保険者(65歳以上高齢者)が負担する適正な介護保険料の水準の見極めなどが必要であり、市民アンケート調査や開設事業所等の意見を十分聴取したうえで、事業量を精査することが重要な課題となる。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健介護センター所長	
-------	------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>高齢者施設整備補助金の事務執行であり、法人からの申請をはじめ、補助決定まで適切な事務執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>老人福祉施設の建設にあって必要な事務であり、国・県等との円滑な補助金の流れを作るため、今後も、法人等の意向を確認しながら実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
